

中小・小規模事業者 負担重く

- ★ 「当面の経営上の問題点（複数回答）」について、1位が「原材料価格の上昇」の140社。2位が「需要の停滞」の129社。「人件費の増加」が65社で3位。
- ★ 「最低賃金引上げによる経営への影響」について、「ある程度影響がある」36.0%（89社）と「大きな影響がある」10.1%（25社）を合わせ46.1%（114社）は影響があると回答。「影響はない」と回答した事業所は42.1%（104社）。
- ★ 「最低賃金上昇に伴う対策」について、「商品やサービスの価格に転嫁する」が最も多く51社。以下「雇用人数を抑制する」25社、「できる対策はない」22社と続く。

令和6年 7 9

三次商工会議所管内（旧三次市）景況調査【概要】

三 次 商 工 会 議 所

令和6年9月に実施した第138回三次商工会議所管内（旧三次市）景況調査の結果は次のとおり。
本調査は、三次商工会議所管内（旧三次市）の企業を対象に四半期ごとに実施するもので今回が138回目。

市内の500事業所を抽出し、集計企業数は251社（小売業74社、卸売業27社、製造業34社、建設業59社、運輸・交通業13社、観光・サービス業44社）で回収率は50.2%。

【概況】

今期（7～9月）の調査結果を見ると、自分の事業所の状況をどう見ているかを示す業況D.Iは、全業種平均で▲20.3と、3ヶ月前の前回調査から3.4ポイント悪化した。業況が「かなり好転」と答えた事業所が0.4%、「やや好転」が15.1%で、逆に「やや悪化」が27.1%、「かなり悪化」が8.8%だった。売上D.Iは▲15.8から1.1ポイント悪化し▲16.9。採算D.Iも2.9ポイント悪化し▲31.9。原材料（商品）仕入価格は68.8とやや上昇。

今回事業所に対し、「10月から最低賃金が1020円に引き上げられたことによる経営への影響」について尋ねたところ、「ある程度影響がある」36.0%（89社）と「大きな影響がある」10.1%（25社）を合わせ46.1%（114社）が「影響がある」と回答した。業種別にみると、非正規雇用者の割合が低く、比較的賃金水準が高いと言われる建設業では「影響がある」事業所が30.5%だったのに対し、観光・サービス業では66.0%に上った。非正規労働者の割合が多い観光・サービス業では、最低賃金上昇に伴い、人材の奪い合いが激化するなど、人手不足に拍車がかかることも予想される。他方、「影響はない」と回答した事業所は42.1%（104社）。

今回の最低賃金の引上げにより、全体的な賃金水準の向上が期待される一方で、中小・小規模事業者にとっては、原材料価格やエネルギー価格等が高騰するなか、価格転嫁が十分に進まないで人件費の上昇が経営に大きな負担となる可能性も出てくる。今後、さらなる生産性向上など自助努力はもちろんのこと、政府には、円滑な価格転嫁に向けて、消費者等の理解醸成を図るとともに、多角的な経済施策が望まれる。

※ DI値（景況判断指数）について

DI値は、業況・売上・採算などの各項目についての、判断の状況を示す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものでなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味する。

業況DI (好転割合) — (悪化割合)

売上DI (増加割合) — (減少割合)

採算DI (好転割合) — (悪化割合)

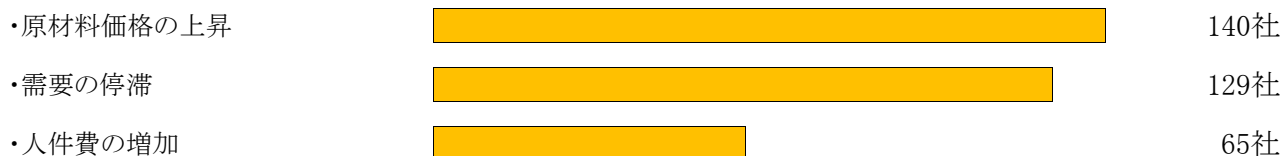
業況は、全業種合計で今期▲20.3。業種別では、卸売業、製造業、運輸・交通業、観光・サービス業の4業種で悪化。特に、製造業（▲29.7→▲50.0）と運輸・交通業（▲7.1→▲23.1）の2業種が15ポイント以上の大幅悪化。

売上は、全業種合計で今期▲16.9。業況同様、卸売業、製造業、運輸交通業、観光・サービス業の4業種が悪化。主な原因は、「景気の低迷」や「季節的な減少」、「取引先の悪化・減少」など。

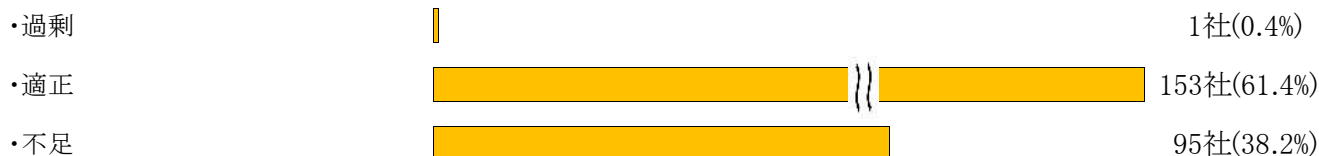
原材料(商品)仕入価格は、全業種合計で今期68.8と引き続き高値で推移している。

採算は、全業種合計で今期▲31.9。業種別では、業況、売上と同じく、卸売業、製造業、運輸・交通業、観光・サービス業の4業種で悪化。悪化した主な理由として「売上の減少」はもちろんのこと、「売上原価（仕入・原材料費）の上昇」が挙げられた。

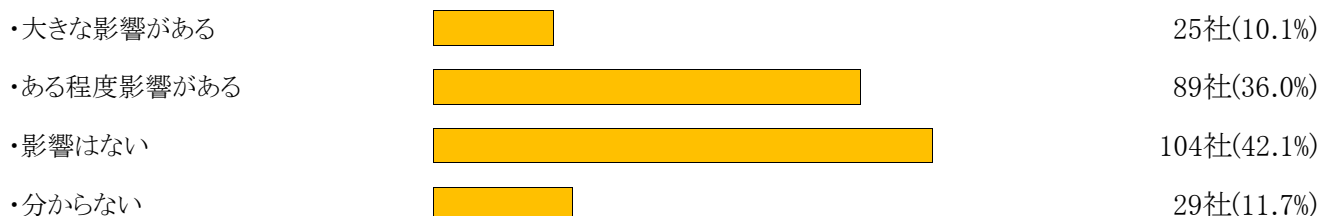
【当面の経営上の問題点】(上位三項目・複数回答)



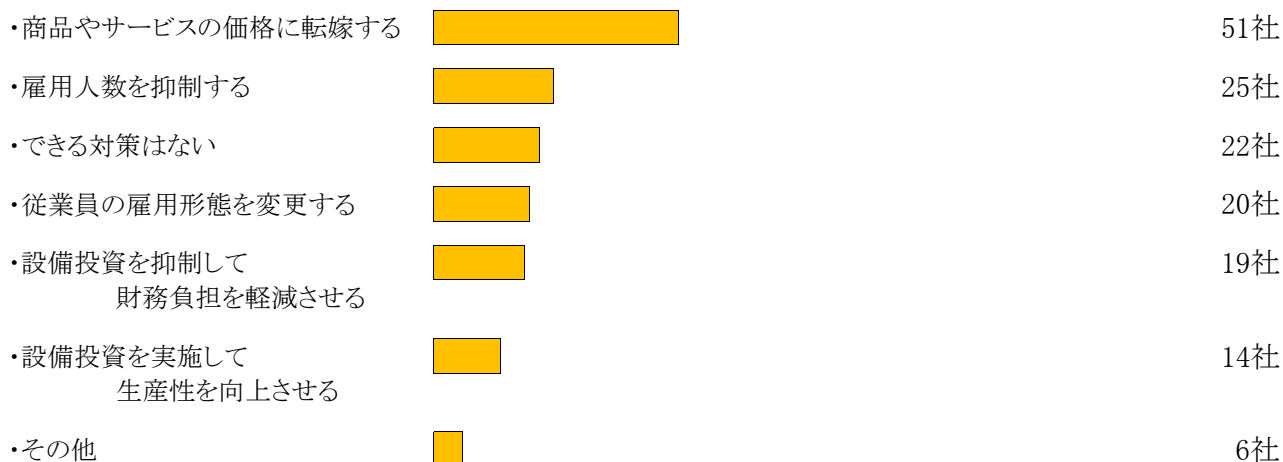
【現在の雇用人員についてどのようにお考えでしょうか？】



【最低賃金引上げによる経営への影響はありますか？】



【最低賃金上昇に対し、どのような対策を実施、または検討されていますか？】(2つ以内)



※百分率は有効回答数を分母として算出

【業況DI】

	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 20.3	▲ 12.4
小売業	▲ 12.2	▲ 12.3
卸売業	▲ 25.9	▲ 14.8
製造業	▲ 50.0	▲ 8.8
建設業	▲ 15.3	▲ 11.9
運輸・交通	▲ 23.1	0.0
サービス業	▲ 13.6	▲ 18.2

(好転割合－悪化割合)

【売上DI】

	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 16.9	▲ 9.2
小売業	▲ 8.3	▲ 8.3
卸売業	▲ 25.9	▲ 11.1
製造業	▲ 41.2	▲ 2.9
建設業	▲ 11.9	▲ 16.9
運輸・交通	▲ 15.4	7.7
サービス業	▲ 13.6	▲ 9.1

(増加割合－減少割合)

【採算(営業利益)DI】

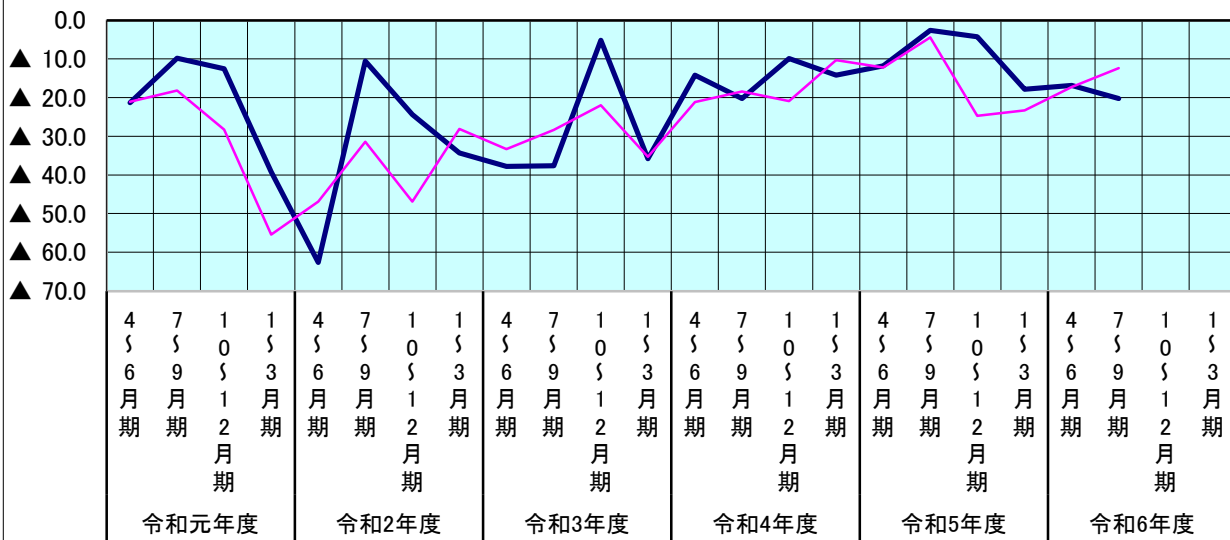
	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 31.9	▲ 26.8
小売業	▲ 24.3	▲ 30.1
卸売業	▲ 33.3	▲ 25.9
製造業	▲ 58.8	▲ 32.4
建設業	▲ 28.8	▲ 30.5
運輸・交通	▲ 30.8	▲ 15.4
サービス業	▲ 27.3	▲ 15.9

(好転割合－悪化割合)

全業種

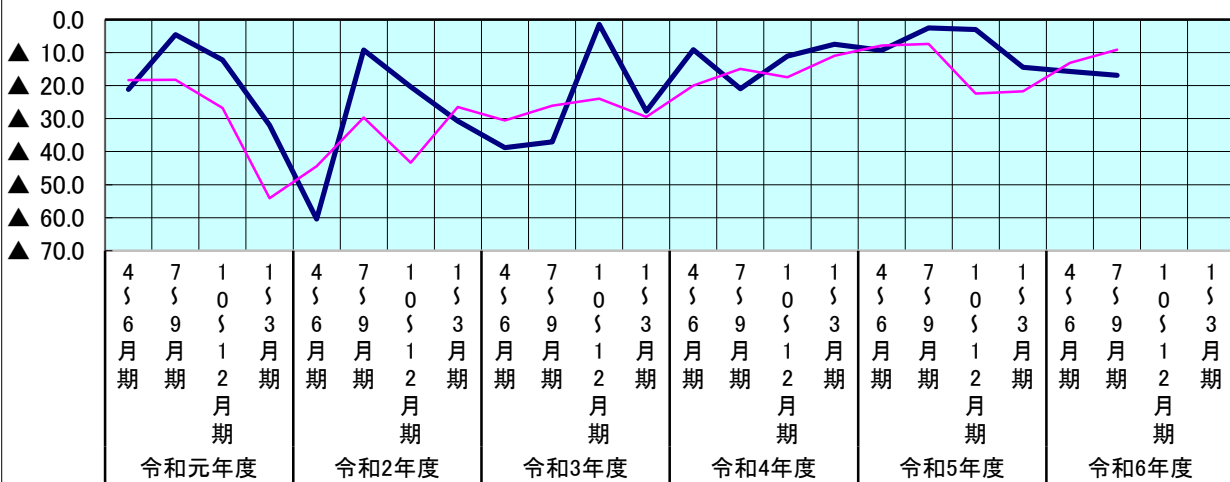
業況D.I.の推移

前期比 来期見通し



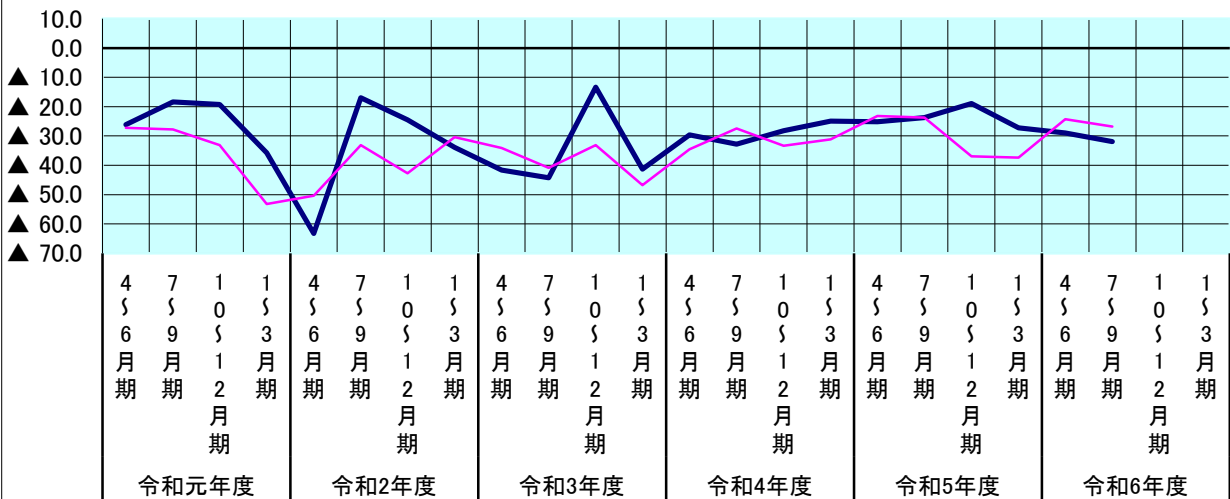
売上D.I.の推移

前期比 来期見通し



採算D.I.の推移

前期比 来期見通し



【景気天気図】

業 種	項 目	業 況	売 上	採 算
小 売 業	7 月 ～ 9 月 実 績			
	10 ～ 12 月 見 通 し			
卸 売 業	7 月 ～ 9 月 実 績			
	10 ～ 12 月 見 通 し			
製 造 業 (工 業)	7 月 ～ 9 月 実 績			
	10 ～ 12 月 見 通 し			
建 設 業	7 月 ～ 9 月 実 績			
	10 ～ 12 月 見 通 し			
運輸・交通業	7 月 ～ 9 月 実 績			
	10 ～ 12 月 見 通 し			
観 光 サービス業	7 月 ～ 9 月 実 績			
	10 ～ 12 月 見 通 し			

景 気 天 気 図 の 説 明



大変良い



良い



まあまあ



少し悪い



悪い



大変悪い